

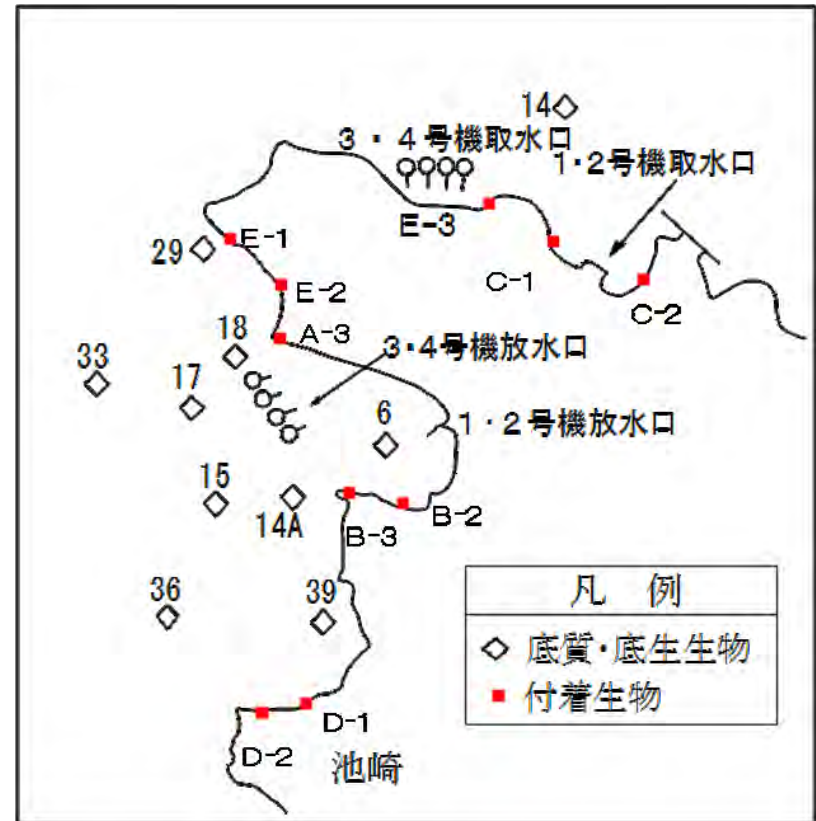
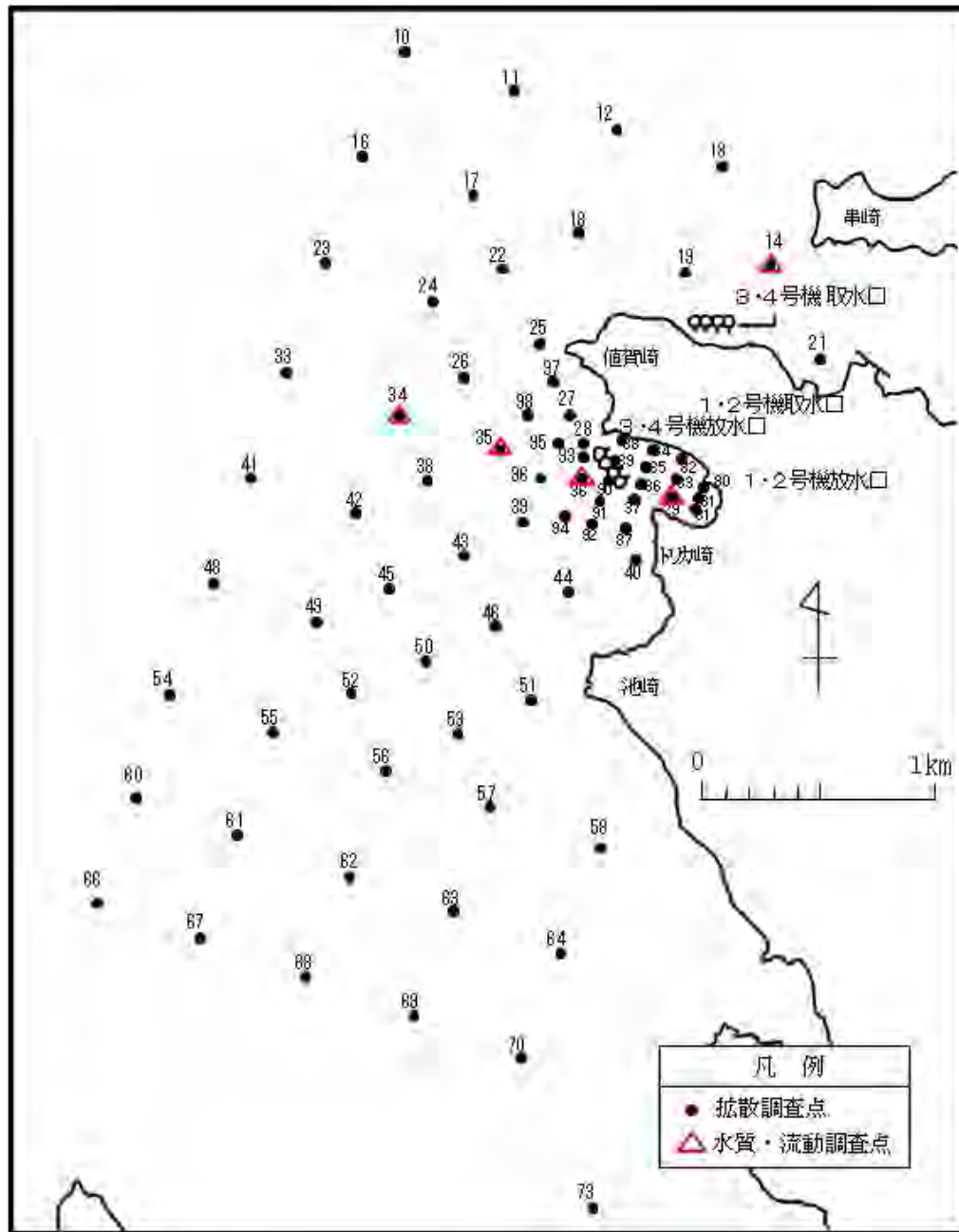
# 平成25年度温排水影響調査(夏季)結果

玄海水産振興センター

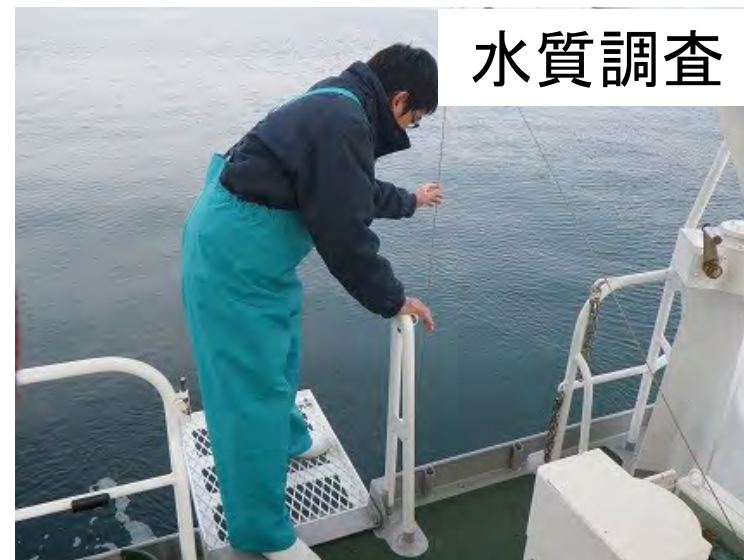
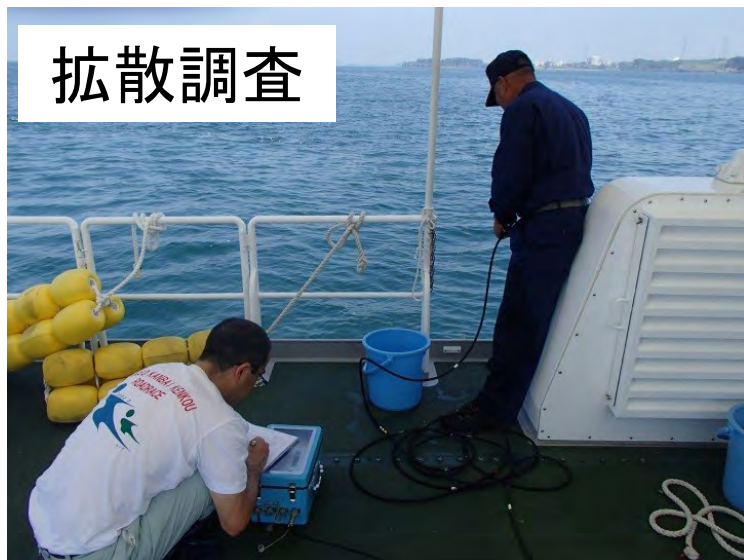
## 平成25年度調査実施状況

項目	調査月日	内容	調査点数	観測層	調査方法および使用機器
拡散調査	8月 19日	水温 塩分	74	水温：0.3(表層), 1, 2, 3, 4, 5, 7, 10m 塩分：0.3(表層) m	・水温、塩分：電気水温塩分計 による現場測定 (アレック電子 ACT20-D型)
流動調査	7月 10日	流向 流速	5	0.3(表層), 5, 10, B-1(底層) m	・流向・流速計による現場測定 (アレック電子 AEM213-D型)
水質調査	8月 16日	水温 pH DO 濁度 クロロフィル-a	5	0.3(表層), 5, 10, B-1(底層) m	・水温、DO、濁度：多項目水質計 による現場測定 (JFEアドバンテック社 ASTD-102) ・pH：卓上測定器による測定 (TOA-DKK社 卓上pH計) ・クロロフィル-a：蛍光法
底質・底生 生物調査	8月 22日	粒度組成 COD ベントス	10	海底土	・粒度組成：ふるい分け法 ・COD：アルカリ性法 ・ベントス：マクロベントスについ て定量・同定
付着生物 調査	8月 20日 21日 22日	動物 植物	10	潮間帯	・ベルトトランセクト法 岸側各点から海方向にメジャーを伸 ばし、1.5 m毎に50cm枠の中の種 類、数量(被度)を調査

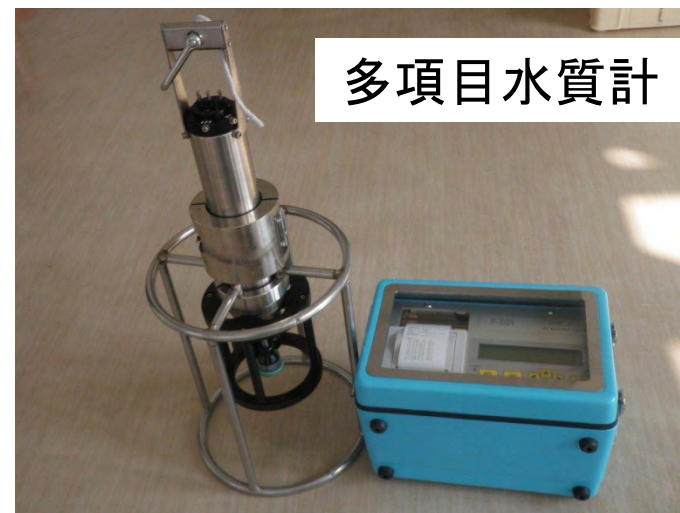
# 調査定点図



# 拡散調査・水質調査風景

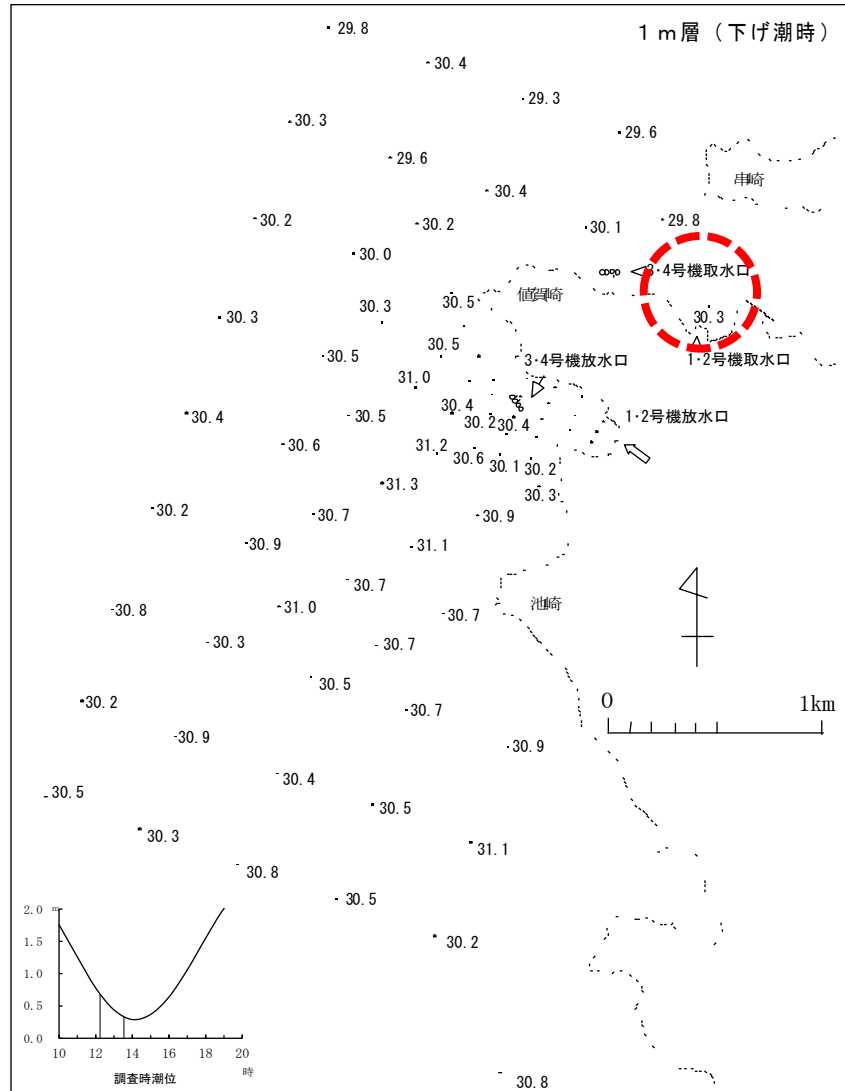


## 調査機材

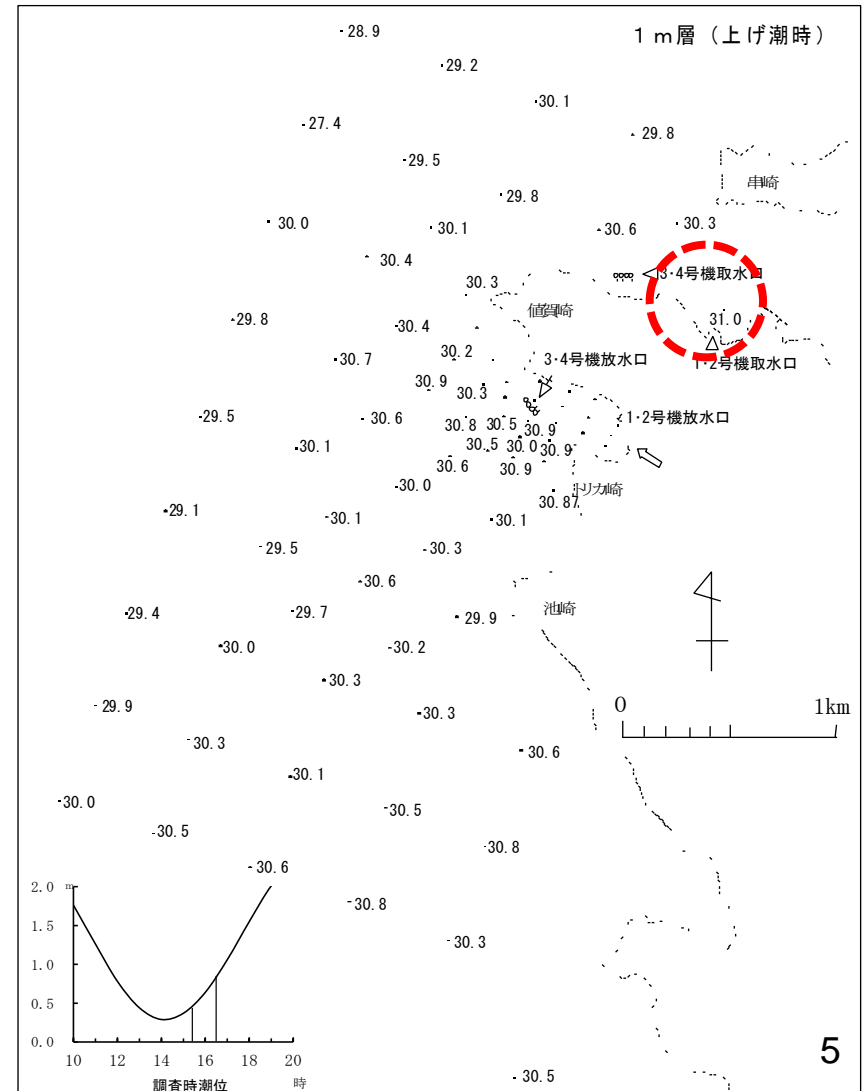


# 夏季拡散調査結果

8月19日



8月19日



# 水質調査項目の説明

水温: 海水の温度

pH : 水素イオン濃度指数。

7が中性であり、大きいとアルカリ性、小さいと酸性。

DO: 海水中に溶けている酸素の量。

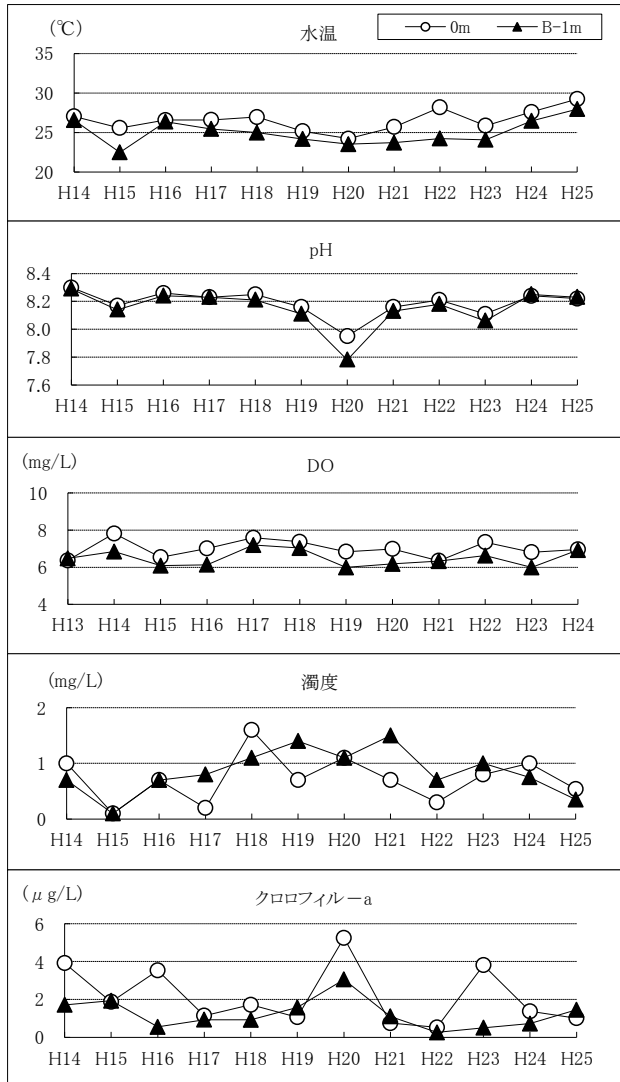
濁度: 海水中の濁りの度合い。

クロロフィルa量: 植物プランクトンの光合成色素。

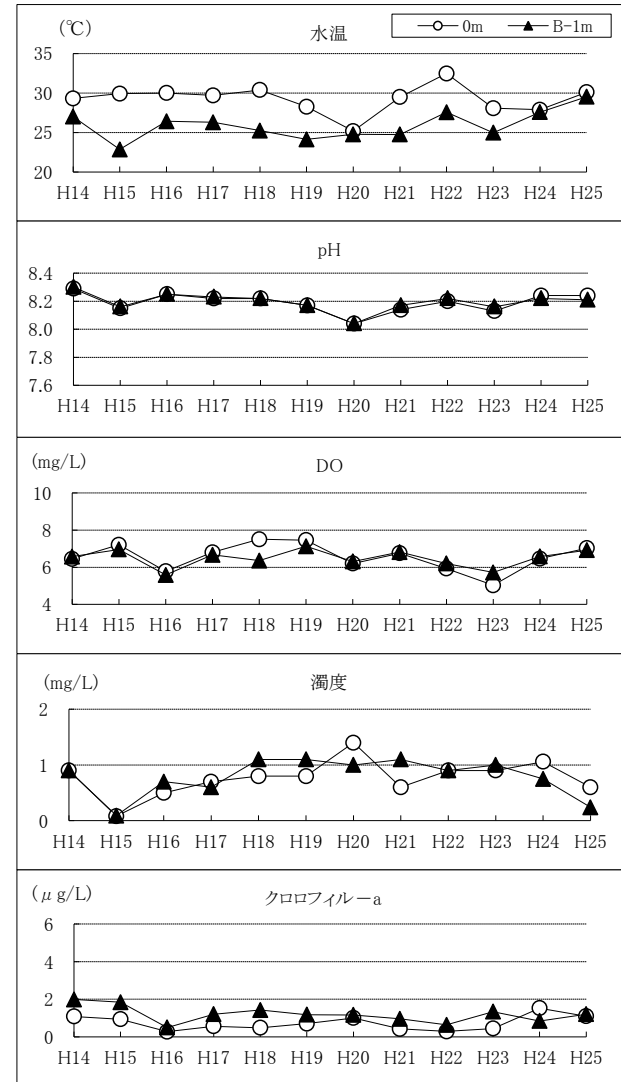
海のプランクトンの生物量や生産量の指標として扱われている。

# 夏季水質調査結果の推移

## 取水口側

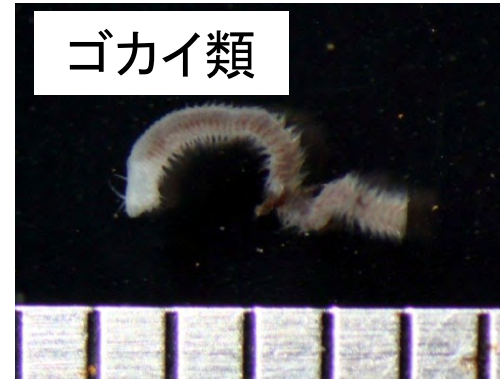


## 放水口側



# 底質・底生生物調査

## 採泥器



1mm

ベントス: 海底の砂や泥に生息する生物のこと

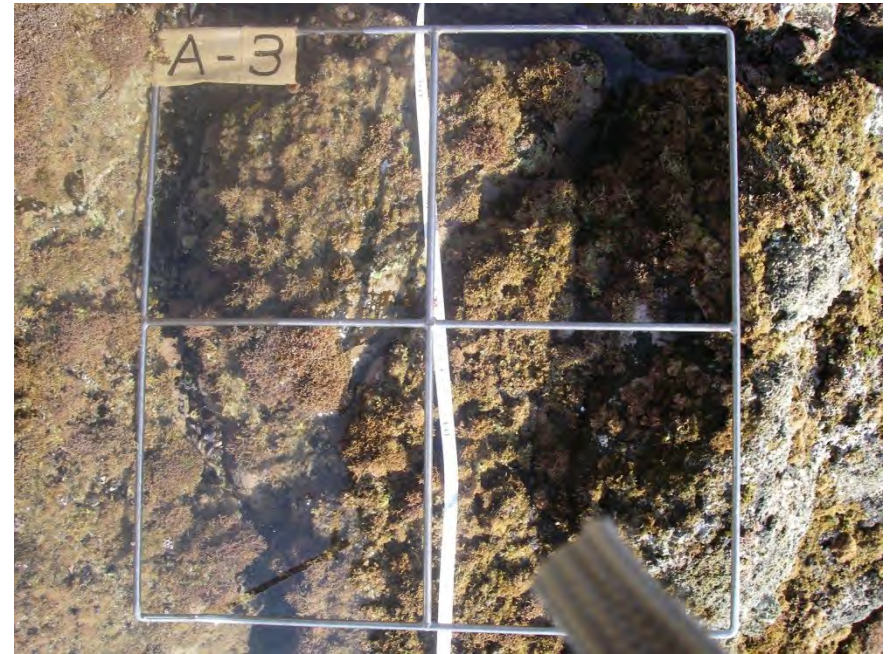


# 付着生物調査

## 調査ライン



## 調査点



## 出現生物例(動物)

カサガイ類



イボニシ類



フジツボ類

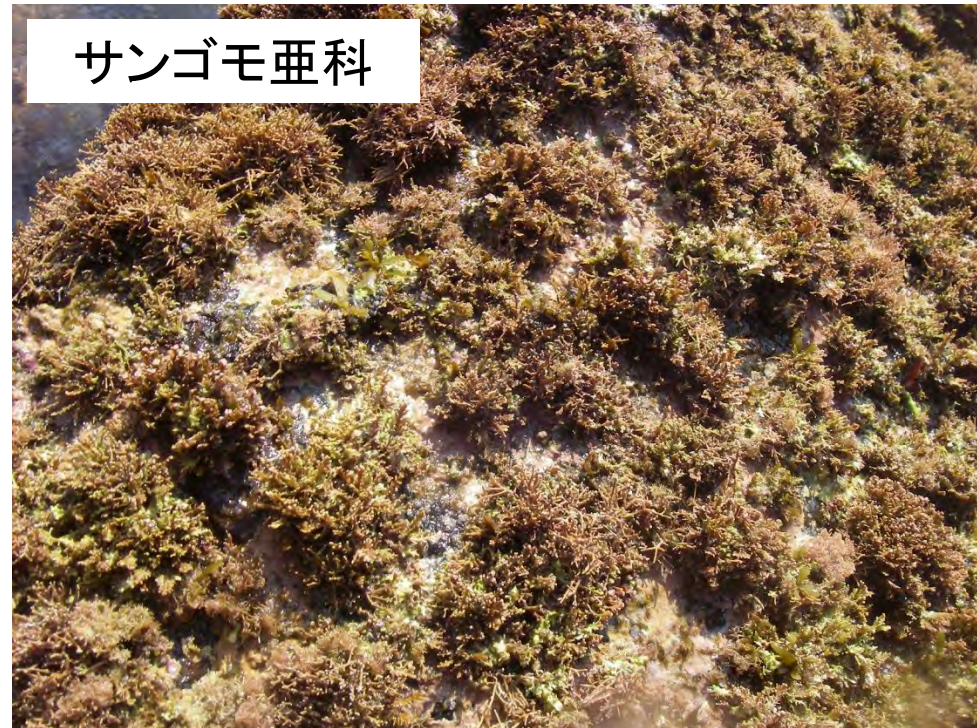


カメノテ

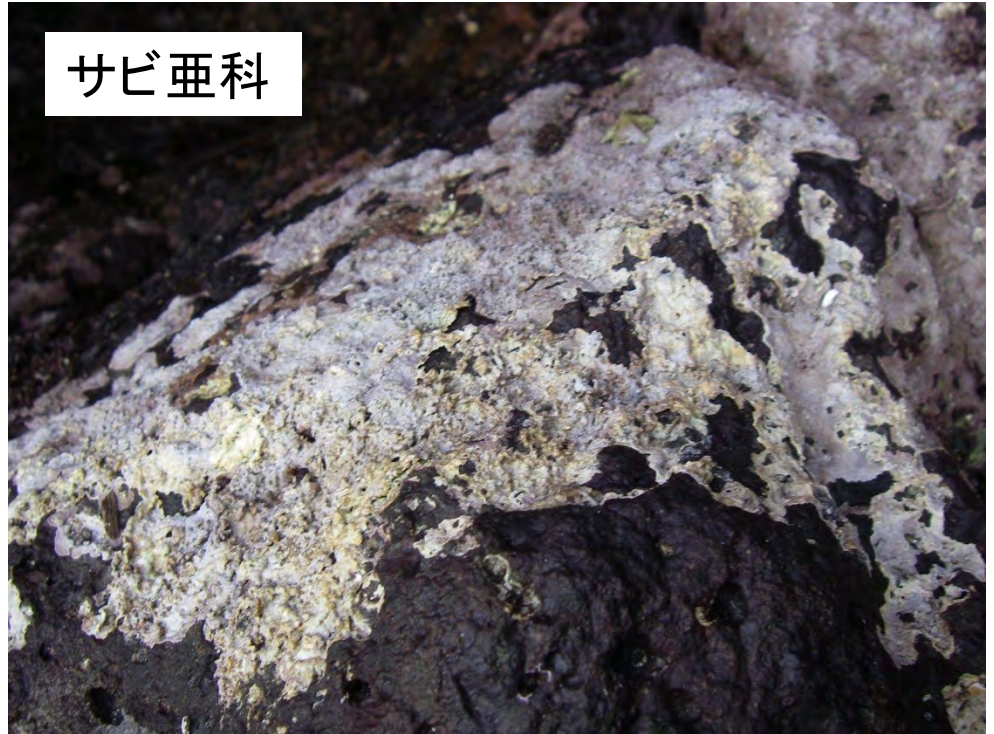


# 出現生物例(植物)

サンゴモ亜科



サビ亜科



## 平成25年度 温排水影響調査結果(夏季)

全号機停止中のため、放水口周辺では稼働時のような水温の上昇はみられませんでした。

その他の各調査については、過去の変動の範囲内でした。